

日本共産党

うらわか

日本共産党浦和区後援会ニュース
2014年12月号・No.42
浦和区北浦和3-14-16
TEL/FAX048-833-4515
★★★★(部内資料)★★★★

松村としおは、衆院埼玉1区から国政を目指します

大宮駅西口・全国キャラバン宣伝活動



私、松村としおは、衆議院小選挙区埼玉1区から国政を目指します。

私は、4月以来の活動で多くの方から「年金が下がったのに消費税とか税金がどんどんあがる。これで10%なんてとんでもない」「子どもが3人いて生活費がたいへん。消費税とか保育料とか負担が重い」ということをどこでも聞きます。

また、「このまま日本が戦争する国になってしまうのではないか」、「かつておかした過ちをまた、くり返すことになるのではないか」という不安の声もたくさん寄せられてきました。

さらに、原発再稼働への多くの国民の批判、沖縄県での米軍基地を許さないという固い県民意思、派遣法の改悪を許さないという働く人たちの声……。どれも安倍政権がすすめてきた重要政策に対して国民の大きな反発がありました。

私もこうした声にこたえて、「安倍政権の暴走ストップ」、「安倍政権に退場のレッドカードを突きつけよう」と訴えてきました。

今回の衆議院解散・総選挙はまさに、私にこれ

まで寄せられてきた声に直接こたえるチャンスとなりました。

衆院埼玉1区には自民党と民主党の現職議員がいます。そこに割って入るのですから、私は挑戦者＝チャレンジャーということになります。

しかし、「民主党に期待したが駄目だった」という方、「安倍政権は本当に危険。なんとかしてほしい」という方、とこれまでも数多く出会ってきました。

同時に、「第3極」と言われた自民・民主批判の受け皿政党が消滅したり、混乱したりと、国民の目からは政治不信を抱かせるような状況があります。

政策だけでなく、他政党との関係で見ても日本共産党にとって、そして私にとってもたいへん面白い選挙になる予感がしています。

日本共産党については様々なご意見があることは承知していますが、消費税、戦争する国づくり、原発再稼働、TPP、働くルールの改悪、貧困の広がり、カネに汚い政治などなど、自民党と民主党がすすめてきた、国民のくらしを壊す政治を転換させるために、今度は日本共産党を大きく伸ばしていただきたいと思います。その一員として私もうまくやる決意です。



11.24 浦和区デー ハローワーク浦和前での宣伝活動

総選挙緊急インタビュー

渡辺貢さん、吉野良司さんにお聞きしました

共産党も与党となった11月9日に行われた沖縄知事選の翁長さんの勝利に引き続き、来年4月の市議選、県議選の勝利をと思っていたところでしたが、突然衆院解散・総選挙となりました。このテンポは予想以上でしたが、亡国の安倍首相退陣をいち早く掲げた共産党の主張通りになってまいりました。後援会事務局では早速総選挙に向けての特集版を組みました。解散が決まった直後の11月24日、浦和区在住で、2期衆議院議員で活躍された渡辺貢さん、そして長い間市議、県議で活躍された吉野良司さんに今回の解散総選挙をどう見るか共産党への支持を大きく広げていくためにはどうすべきか、多いに語っていただきました。

日本の将来に大局観をもっている 共産党を堂々と！！

一元衆議院議員渡辺貢さん、
全ての支持者にエールー

Q: 今回の解散・総選挙をどう思われますか？

一介の市民として見ればアベノミクスの破たんです。GDPの成長率-1.6%というのは余りにひどい。この間当初予算以外に11兆円位つぎ込んで、更に国民の了解をとらないで年金基金からも約6兆円つぎ込んでいる。それによって株はあがったかもしれないが庶民には殆ど無縁だと、一般新聞でも書いている。

Q: それにしても今の安倍政権、自民党ひどくありませんか？

元自民党幹事長の野中務氏などは、今の自民党を真正面から批判できるのは共産党だけだと言ってますね。

また毎年やっている議長公邸での元議員OB会などに出ると、たとえば河野洋平氏などが来ると従軍慰安婦問題などで共産党の評判がいい。もっと現役の時言ってくればいいのですがねえ（笑）。前は、中選挙区だから自民党も複数出て競い合っていた。それでいいところもあった。小選挙区になった弊害ですね。



語る渡辺貢さん

Q: 何故そうなってしまったのでしょうか？

自民党にしても民主党にしてもそうですが、日本の将来について大局観をもっていませんね。共産党以外は持っていないといっている。日本が平和国家としていくためには何が必要かという大局観が必要です。なぜ彼らには大局観がもてないのか。それは、結局アメリカに追随しているからだと思う。それと財界の意向に左右されている。それで、自由な発想、思考ができないのではない。財界も大局観を持っているとは思えない。経団連は大企業の利益を中心にした組織。昔は土光さんのような人物がいましたが、今は財界もみすぼらしいですね。

Q: かつての体験をまじえてエールをお願いします

1972年12月、共産党が38議席の当選者を出した時、ここ埼玉1区では中選挙区制でしたが、平田藤吉さんが前回の5万8千票から13万7千票獲得してトップ当選した実績があります。その時私は選対の責任者で、武蔵野銀行頭取と平田候補

うらわだい
 前地・三老

北原白秋「この道」でどぞぞ！
 ♪この道しかない道
 ♪あゝあ そおおだゝよお
 ♪増税と不況の
 ♪風が吹く道

のトップ会談を実現させたり、川口のグリーンセンターで1万人集会を成功させるなど、奇抜なアイデアを出しました。当時と政治状況や時代観が違うとは思いますが、候補者も選対も知恵を出してやり続けていけばきっと結果が出ます。候補者が新人でも、大局観を持っている共産党を堂々と訴えていけば支持は広がっていくでしょう。私も勿論全力で応援します。

いよいよ自共対決の時代が本格的にやってきた

一元県議吉野良司さん、解散総選挙を語る一

Q：今度の解散・選挙をどう思われますか？

政治状況はまさに自共対決の時代に突入してきました。現在の政党は一強多弱などと言われてますがとんでもないことです。争点は全ての点で自共対決となっていて、アベノミクスの是非に騙されてはいけません。メディアは共産党も多弱に入れようとしています。共産党を除いた政党が多弱なのであって、そうした論調を打ち破らないといけません。民主党は明確な対決軸を持っていない第二自民党のようなものです。いま共産党が政策的に優位に立っています。そのことを大いに宣伝することが大事です。国政に立つ候補者も、地方選に立つ候補者も、もっともっと宣伝カーを増やして、共産党の政策を鮮明に宣伝しないといけません。小集会もどんどんやらないといけません。

Q：宣伝や訴えて大事なことは何でしょうか？

演説や人と話す上で特に言いたいことは、聞

く人の心に届くようにすることです。そのためには候補者は勿論ですが、後援会の皆さんも大いに新聞や本やあらゆる情報を仕入れて、自分なりに話す内容を考えてることが大切です。自分で得たそうした情報や体験で演説とか対話に使えるのは、経験上せいぜい1、2割です。決められたことや上から言われたことだけを話していたのでは絶対に響きません。また、人を深く理解し、感性豊かな人間であることが大事です。そのために、本を読んだり絵を見たり映画を観たりすることが大事です。そして会った人の顔を絶対忘れないこと。あと、握手は、手の感触やぬくもり等、人の記憶にずっと残ります。握手は是非候補者の特権として大切にしてください。



語る吉野良司さん

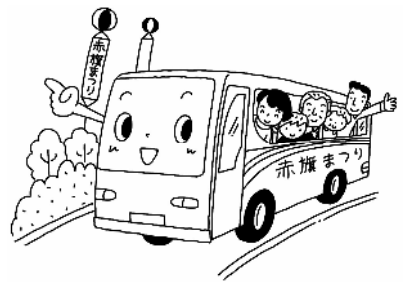
(まとめ 古澤英二)

赤旗まつりへ・浦和区後援会バスツアー

=雨・でも、楽しかった=

元町：K. S

読者の方2人をお誘いしたのに生憎の雨。傘を片手にOさんとイワナを頼張り、ビールをゴクン。秋晴れの下でのイワナも最高だけど、雨の中も又格別の味だった。書籍バザールで思わず買い込んだ5冊の本は重かった。でも、最後の日本共産党館は本当に来てよかった、と思った。戦争中、しかも軍艦の中で反戦平和の活動をした先輩たちがいた事に驚き、その不屈の魂と人間性に感動させられた。お誘いした2人も「青空寄席で琵琶の弾き語りを楽しめた」との事。3日間で15万人が！！この力で安倍極右政治を必ずストップさせたい！！させましょう。



= 赤旗まつりに参加して =

駒場：関口 幹司



浦和区後援会バスで参加したみなさん

会場である夢の島公園の野外ステージまでの道のりに全国物産模擬店が47都道府県の自慢の品

物を並べていた。埼玉県は米こうじ味噌。

浦和東口後援会はどこなのかあまりに人出が多くて見回しても分からない。関東の各地から後援会がこの赤旗まつりに参加しているので、浦和東口後援会の幟はどこにあるのか、携帯で聞いても辿り着くことができず、集合時刻が迫って来ている。

今日はまつりの二日目だ。昨日は4万人とか。本日は曇天だが4万人はとうに超したようだ。どこにいるのかと捜すこと30分。やっと浦和東口後援会の幟を見つけた。5人の仲間が円座を作り、昼食中であつた。全国模擬店にお弁当と焼きそばを買いに行こうとすると、人、人ばかりで足がなかなか進まず、手に入れるのに、30分。東口後援会に戻るのもどこか迷うほどの人ごみで時間がかかった。各所で来春の地方選挙候補者の紹介があり、抱負を演説していた。

14時になって、野外ステージで志位委員長の記念演説が始まった。会場は立錐の余地がないほど多数の聴衆で埋まっていた。消費税増税、集団自衛権、原発再稼働、沖縄の基地建設等委員長演説の節目には大きな拍手が嵐のように起こり佳境に入る。そして、金権体質政治に批判することができるのは政党助成金を受け取っていない唯一の政党だから撤廃を訴えて盛り上がる。

つぎに、国民的歌手矢代亜紀さんの登場だ。観衆が多く、ステージ近くに行くことが出来ない。スクリーンを遠方より眺め見ている。聴きなれた大ヒット曲である、「雨の慕情」、「舟歌」。

本日は8万人の来場者とか。このような盛大なお祭りが他政党にできるだろうか。共産党の支持基盤の広さである。

帰りに号外『日本の未来はこの党の躍進』をも

らった。まさにその通りで、期待したい政党だ。赤旗まつりに初めて参加し、この日聴いたり、見たりしたのは志位委員長の演説や矢代亜紀さんの唄だけだったが、格安な参加券にお礼を言いたい。本当に楽しい日曜日であつた。

川柳

岸町・だん吉

三極は 三三五五と 散るばかり
疑惑中 立候補する ずうずうしさ
わが票は 平和愛する 共産へ
安倍総理 ウソとゴマカシ 見え見えだ

俳句

見沼 陽水

栗をむく たたかふ意志の たかぶりて
尿すれば 虫の音やみて 夜長かな
かぶと虫 のそりと動く 幹のかげ
老妻の いびきや愛し 萩の花

次回 「うたごえ in パレット」

1月10日(土) 2時~4時 参加費500円

《編集後記》

選挙になる毎に話題になるのが選挙制度とカネの問題。特に衆院の小選挙区制度は諸悪の根源でその弊害は想定外に大きい。公約違反の議員の政党渡り歩き、選挙直前での場当たり的な政党間協定騒ぎ、カネで縛られる公認候補騒ぎ等だ▼そもそも大政の党利党略で導入したこの制度。政権交代がしやすくカネがかからない等とごまかしていたが、やはり自民党の都合のいいように利用されていくのしか思えない。民意を最大限保証する憲法の精神からみても正当性があるのか大いに疑問だ。自民党長老が、以前の中選挙区の時の方がまじだったというのも皮肉だ。

▼そしてカネの問題。税金無駄遣いの政党助成金でも不足なのか、更に企業献金もOKというのは一体どういう量見なのか。選挙はカネがかかるといふ悪しき習慣はもうやめさせよう。現に共産党は助成金も企業献金も受け取らずやっているではないか。企業献金は利益誘導の収賄と同じ罪だ。どうしても育成したいというのなら、企業の名においてではなく個人の名ですればいい▼折しも最高裁で参院選の二度目の違憲判決が出た。改革論議を衆院では単に比例代表の定数削減などという小手先でなく、現行並立制を廃止し、最も民意を保証する全国一律比例方式かブロック別比例方式にするなど画期的、抜本改革を議論して欲しい。(英)